

# コミセンは防災の拠点



ダンボールベッド組み立て訓練



避難者の受付訓練

安心・安全で元気な地域づくりを目指して  
柏崎市コミュニティ推進協議会だより

第17号

【発行】

柏崎市コミュニティ推進協議会  
TEL: 21-2272  
FAX: 24-7714

過去のたよりは  
こちら



皆さんの地域にあるコミュニティセンターは、災害時には避難所が開設され、防災の拠点となります。日頃から災害に備えて、防災活動にも協力していきます。

今年にはコロナ禍を踏まえ、受付で使う非接触型体温計の準備やダンボールベッドの組み立て訓練等を行いました。また、避難者の距離を保つため、体育館に2m程度の間隔で印をつけることで避難者のスペース(4m程度)を確保できるようにしました。

コロナ禍を考えると、皆さんも家族や近所、町内で日頃から話し合ってお互いの安全を守るため、コミセンなどの避難所だけでなく、安全な親戚・知人家、宿泊施設、自宅の2階への垂直避難なども選択肢として、災害に備えましょう。



柏崎市コミュニティ推進協議会(通称「コミ協」とは...)

柏崎市の31地区のコミュニティ協議会が参加し、各地区の地域づくりの中心的役割を担うコミュニティ職員が各コミュニティの抱えている課題の共有や研修などを通して地域の活性化に取り組みするための組織です。



# 鵜川コミセン統合にあたって

## 令和3年度からの野田ファミセンの仲間になります

～統合される鵜川コミセンのこれまでの活動と統合後について紹介します～



### ★鵜川コミュニティセンターの紹介

鵜川コミュニティセンターは、昭和五十三年四月に開館して以来四十二年、豊かな地域資源を活用して独自のイベント（ほたる祭り・雪上運動会）や体力づくり事業を行って来ました。

近年は過疎化や高齢化が進みつつも地域の活動拠点として、様々なコミュニティ活動を継続して実施しております。

### ★地域の紹介

女谷、折居、市野新田の十一町内会で構成され現在は四十七世帯です。高齢化に伴い路線バスが廃止され、平成二十八年から鵜川・野田間でデマンドバスが運行されています。また、平成三十一年三月末で鵜川診療所が閉所されました。地域ボランティアで年二回綾子舞会館前広場の草刈りが行われますが、毎回三十人以上の参加者があり、最高年齢では九八才の方が来ら



れていました。高齢化とはいえ鵜川地域の人達はいざという時には、行動力があり、とても頼れる存在です。



### ★これまでの活動をふりかえって

写真は、昭和五十三年四月一日竣工の様子です。当時二七一世帯あり様々なイベントに参加してきました。ごおん民謡流し、コミセン祭り、柏崎風の陣では鵜川山の陣、生涯学習では、盆栽、民謡教室と非常に賑やかに活動していました。当時はまだ小・中学校もあったので地区運動会などもあり、楽しい競技がくりひろげられ地域の一大行事にもなりました。あれから四

十数年人口減少と共に、参加するイベントも減ってきましたが、大小に関わらず、皆で力を合わせて実行して来ました。

### ★ほたる祭り

清流と里山に囲まれた自然豊かな場所です。初夏には水田にたくさんのお花火を観賞することができます。

毎年六月の下旬に行なわれているイベントで平成十七年から続いています。

イベントの際にはかがり火がたかれ、地域の貴重な国指定重要無形民俗文化財「綾子舞」も演じられます。祭りではホテルの見学とあわせ、豚汁・蕎麦などの屋台もあるので、毎年大勢の来場者に来ていただいています。



★収穫祭



始まりは有志で行っていた収穫祭も、だんだん広まり地域外からの参加者も年々増えて来て大きなイベントになりました。地域の雰囲気に合わせて皆さんに喜ばれたのは、地元の料理です。地元の食材で二十種類以上の料理といのしし・たぬき・かに汁と鵜川に來なければ食べられない料理が盛り沢山で大変喜ばれました。長年行ってきた収穫祭も、平成二十四年を最後に惜しまれながら終える事になりました。

★雪上運動会

豪雪地域ならではの雪を利用した鵜川独自のイベントです。今年で五十回目になりました。地域の住民・鵜川出身の親子、孫、田んぼの学校の子供達と、盛り沢山の競技で一日楽しく過ごせるプログラムになっています。「さいの神造り」「玉入れ・雪上綱引き・ソリレース」「餅つき体験」最後に「さいの神着火」で餅やスルメを焼きながら（大人は熱燗）火の消えるのを見ている時間はとても心地よいです。天気の良い青空の中での運動会は競技に出なくとも最高の景色を見ることが出来ます。



★記念式典

平成二十九年十一月五日、四十周年記念式典が行われました。四十年間の思いを噛みしめながら、「これからも皆でここ（コミセン）で頑張っで行こう」という皆さんの思いが感じられた記念式典・祝賀会でした。



★鵜川コミセン統合後について

五月から行われてきた野田との統合会議も最終段階になって来ました。新年度から週二回（月・木 午前九時～十二時）主事さんから来てもらうことでの合意を頂きました。鵜川地域としては、来てもらう主事さんとのコミュニケーションを取りながら一歩一歩近づいていければと思っています。鵜川地域と野田地域が交流を深めながら、地域の活性化を目指して行きたいと思っています。

今まで行って来た事業を見直しながら、継承事業を中心に、ほたる祭りでは地域外からの交流人口の創出と鵜川地域の魅力を発信し、また、綾子舞のような伝統文化を視察し、野田地域の方に綾子舞の伝統を理解してもらえる様な交流をして行ければと思います。





第17回

元気なコミセンにお邪魔します

中通コミュニティセンター (北部郷)



中通コミュニティ振興協議会  
センター長

伊部 宅



中通コミュニティセンター

★コミュニティセンターの紹介

中通コミュニティセンターは、柏崎市の北東部に位置し、国道8号線沿いに住宅地が広がっています。周囲は緑豊かな田園が広がり自然環境に恵まれています。「いつまでも住み続けたい中通」を目指し、地域の方々から支えてもらいながら活動をしています。

★地域の紹介

中通地区は九つの集落に分かれ、世帯数は四百を超えています。曾地峠のそばには大日山があり、周辺には多くの史跡や遺跡、文化財が残っています。昔からの伝統行事も継承され、地域おこしの担い手として若者が地域を盛り上げる活動をしています。



吉井 長橋の池の蓮

★コミセン活動の紹介

四月に大日山ウォーキング、六月に敬老会、九月に地区運動会や研修旅行、十一月にコミュニティまつりを実施しています。また、3つの専門部会があり、教育振興部会ではボーセラーツ教室を、地域活性化部会ではUVレジンアクセサリー教室を、スポーツレクリエーション部会で



コミュニティまつり



大日山ウォーキング

はボウリング大会などを行っています。この他にも地域の住民の要望に応える講座や教室を開催し、地域住民が交流しやすいコミセンを目指しています。気軽に参加し、憩いの場として住民から利用してもらえよう、フェイスブックを使って講座や地域の話題を掲載していますのでぜひご覧ください。



ボウリング大会



ボーセラーツ教室